

第18回シンポジウム

開催日：平成29年3月29日（水）14:00～17:00

場 所：弘済会館 4階会議室「蘭」

I. 基調講演 原田 宗彦 氏（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）（掲載略）

演題：スポーツ・文化・観光による新しい地域創生の試み

II. パネルディスカッション（講演資料掲載）

テーマ：2020 東京大会に向けてスポーツ・文化・観光政策の連携

コーディネーター

丁野 朗 氏（公益社団法人日本観光協会 総合調査研究所特別研究員、
東洋大学大学院教授、文化庁日本遺産委員）

パネリスト

高田 行紀 氏（文化庁 長官官房政策課企画調整官
[併] 文化プログラム推進室担当室長）

勝又 正秀 氏（スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック課長）

蔵持 京治 氏（観光庁 観光地域振興部観光資源課長）

II. パネルディスカッション

テーマ：2020 東京大会に向けてスポーツ・文化・観光政策の連携

講師：高田 行紀 氏（文化庁 長官官房政策課企画調整官〔併〕文化プログラム推進室担当室長）

講演資料

スポーツ・文化・観光政策の連携

平成29年3月29日
文化庁作成資料

パート1

オリンピックにおける『文化プログラム』の位置づけ

◆「オリンピック憲章」

(根本原則)

- ・オリンピズムは、人生哲学であり、肉体と意思と知性の資質を高めて融合させた、均衡のとれた総体としての人間を目指すものである。
- ・スポーツを文化と教育と融合させることで、オリンピズムが求めるものは、努力のうちに見出される喜び、よい手本となる教育的価値、社会的責任、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重に基づいた生き方の創造である。

(第5章・第39条)

・オリンピック競技大会組織委員会は、短くともオリンピック村の開村期間、複数の文化イベントのプログラムを計画しなければならない。このプログラムは、IOC理事会に提出して事前の承認を得るものとする。

※ 近年の『文化プログラム』は、規模・質ともに、五輪開催期間を超えて長期化・大規模化
→ オリンピックは、「スポーツと文化の祭典」となっている。

1

文化プログラムに関する政府方針について

文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）（平成27年5月閣議決定）（抜粋）

2020年東京大会は、我が国の文化財や伝統等の価値を世界に発信するとともに、文化芸術が生み出す社会への波及効果を生かして、諸課題を乗り越え、**成熟社会に適合した新たな社会モデルの構築につなげていく**またとない機会。

文化プログラム等の機会を活用して、全国の自治体や芸術家等との連携の下、地域の文化を体験してもらうための取組を全国各地で実施する。リオ大会（2016年）の終了後に、オリンピック・ムーブメントを国際的に高めるための取組を行い、文化プログラム実施に向けた機運の醸成を図る。

2020年東京リレ・アール競技大会・東京パ・リレ・アール競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針2015（抜粋）

大会はスポーツの祭典のみならず文化の祭典でもある。日本には、伝統的な芸術から現代舞台芸術、最先端技術を用いた各種アート、デザイン、クールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、メディア芸術、ファッション、地域性豊かな和食・日本酒その他の食文化、祭り、伝統的工芸品、和装、茶、さらには、木材・石材・骨等を活用した日本らしい建築など、多様な日本文化がある。

文化プログラムの推進も含め、こうした多様な文化を通じて日本全国で大会の開催に向けた機運を醸成し、東京におけるショーウィンドウ機能を活用しつつ、日本文化の魅力を世界に発信するとともに、地方創生、地域活性化につなげる。

2

東京2020大会に向けた文化プログラムの枠組

	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会		文化を通じた機連動政策に関する関係府省庁等連絡・連携会議
	東京2020文化オリンピックアード		beyond2020 プログラム
プログラム	東京2020公認 文化オリンピックアード	東京2020応援 文化オリンピックアード	
概要	『オリンピック憲章』に基づいて行われる公式文化プログラム 東京大会の主なステークホルダー等が大会ビジョンの実現に相応しい文化芸術性の高い事業を実施	『オリンピック憲章』に基づいて行われる公式文化プログラム 非営利団体等がオリンピック・パラリンピック・イベントを機軸より広げる事業を実施	2020年以降を見据え、レガシー創出に資する文化プログラム 営利・非営利を問わず多様な団体が実施。 ※オリンピック・パラリンピックの文言使用は不可
実施主体	組織委員会、国、開催都市、会場所在地の地方公共団体、公式スポンサー、JOC、JPC	会場所在地以外の地方公共団体、独立行政法人を含む非営利団体	文化オリンピックアードの実施主体に加えて、公式スポンサー以外の企業も可
ロゴマーク			

3

各プログラムの認証要件

東京2020文化オリンピックアード

大会ビジョン、文化オリンピックアードのコンセプトを実現する
事業内容かどうか総合的に審査

【大会ビジョン】

- 全員が自己ベスト
- 多様性と調和
- 未来への継承

【文化オリンピックアードのコンセプト】

- 日本文化の再認識と継承・発展
- 次世代育成と新たな文化芸術の創造
- 全国展開によるあらゆる人の参加・交流と地域の活性化

beyond2020プログラム

日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、共生社会、国際化につながるレガシーを創出する取組かどうかを審査

【必須要件】

- 日本文化の魅力を発信する取組

+

- 障害者にとってのバリアを取り除く取組
- 又は
- 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

4

各プログラムの対象主体

	東京2020公認文化オリンピック	東京2020応援文化オリンピック	beyond2020プログラム
スポンサー企業	●	—	●
国、組織委員会	●	—	●
開催都市 (東京都、都内区市町村)、 会場所在地自治体	●	—	●
地方自治体 (会場所在地自治体以外)		●	●
非営利団体 (NPO、NGO等)		●	●
非スポンサー企業			●

5

各プログラムの例

東京2020公認文化オリンピック	東京2020応援文化オリンピック	beyond2020プログラム
●「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」京都プログラム 文化会館分科会「文化資源で未来をつくる～輝き続ける日本へ～」 日時：2016年10月19日 場所：京都府「ロムシアター京都」 ●「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」東京プログラム 文化会館分科会「ここからアート・デザイン・障害を考える3日間」 日時：2016年10月21日～23日 場所：東京都「国立新美術館」	●東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者アートフェスタ2016 日時：2016年10月30日 場所：鳥取県「米子コンベンションセンター」 主催：2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟 ●京都：Re-Search ひとと地域とアーティスト ～アーティスト・イン・レジデンスの位置づけ～ 日時：2016年12月4日 場所：京都府「京都リサーチパークサイエンスホール」 主催：舞鶴アーティスト・イン・レジデンス実行委員会	●「大相撲beyond2020場所」 日時：2016年10月4日 場所：東京都「両国国技館」 主催：公益財団法人日本相撲協会 ○場内放送を、日本語・英語の2か国語で実施すると共に、パンフレットも日英併記したものを配布。 ○手話による説明やモニターを設置。聴覚障害者の方は聴導犬とともに観戦。 ●フライデーナイトミュージアム@上野 2月24日(金) 東京国立博物館、国立西洋美術館、国立科学博物館 3月10日(金) 国立科学博物館 3月17日(金) 国立西洋美術館 3月31日(金) 東京国立博物館

6

東京2020文化オリンピック(2016年10月7日)@日本橋



7

スポーツ文化ワールドフォーラム@京都
(2016年10月19日)



8

ジェネシスオブエンターテインメント (車いすダンス)



9

beyond2020プログラム(2016年10月4日)@両国国技館



※外国人、障がい者に相撲を披露

10

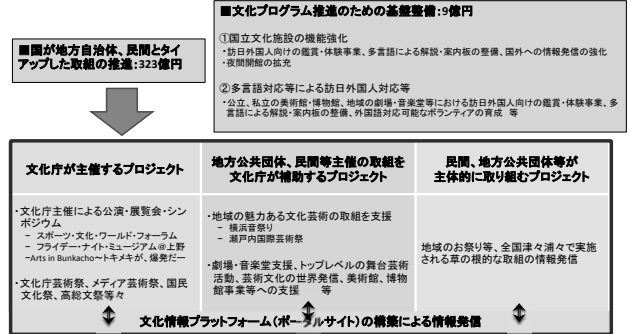
手話、字幕、日英による館内放送



11

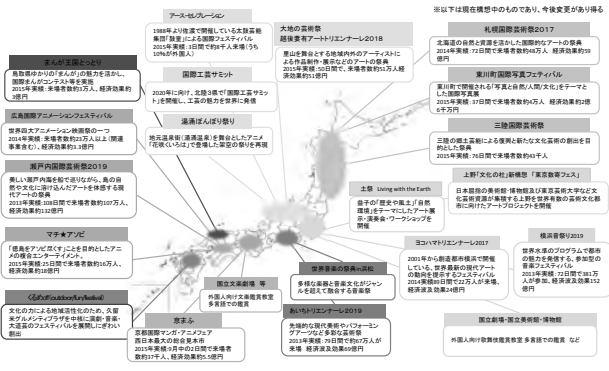
文化庁の取組

29年度予算額(文化プログラムにも活用できる主な文化庁予算):329億円



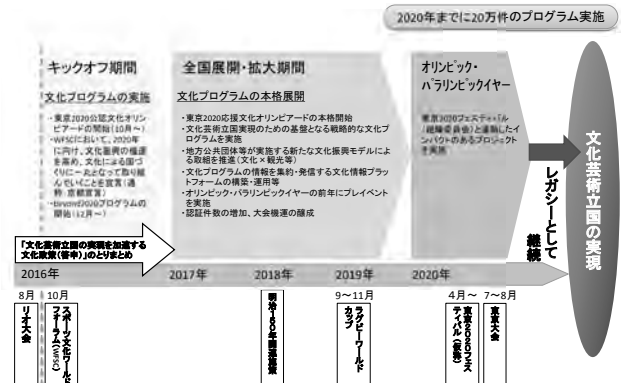
12

2-3 全国で行われる文化プログラムのイメージ



13

3. 2020年に向けた工程表



14

参考:2012年ロンドン大会における文化プログラム

【文化プログラム開催概要】

時期: 北京五輪終了後(2008年9月)からロンドン五輪終了時(2012年9月)まで

場所: 英国全土で1,000箇所以上

イベント総数: 約12万7千件

参加アーティスト: 40,464人(うち6,160人が若手アーティスト、806人が障害のあるアーティスト)

総参加者数: 約4,340万人

実施団体: 組織委、アーツカウンシルUK、文化・メディア・スポーツ省(国)、ロンドン市、レガシートラストUK、その他自治体等

メジャー・プロジェクト例: 世界シェクスピアフェスティバル(シェクスピアの戯曲を37カ国による37の異なる言語で上演)

アンリミテッド(身体に障害のあるアーティストによる上演・展示)



【文化プログラムによる効果】

- 文化レベルの向上
 - ・新たな作品の創造(5370作品の誕生)、文化、企業、教育、自治体等の新たなパートナーシップの誕生(10,940)
 - ・文化プログラムで創出されたプロジェクトの半数が2012年以降も継続(ファンディング等により)
- 幅広い層への文化活動への参画
 - ・参加者4,340万人。参加者やメディアにおける高い評価。参加者アンケートで8割以上が期待以上と回答
- 観光産業への貢献
 - ・外国人観光客の集客は、2012年から2013年で約5.2%の伸び率
 - ・2012年の英国の国のブランドランキングでは、文化関連の項目の評価が向上(1ポイント)したことにより、英国は順位を2つ上げて、ロンドン(ロンドンのブランドランキングは、2012年に1位に)
- 自国文化の誇り、子ども・若者の自尊感情の醸成、障害者への理解、障害者アーティストの活躍等

参照: London 2012 Cultural Olympiad Evaluation Final Report

15

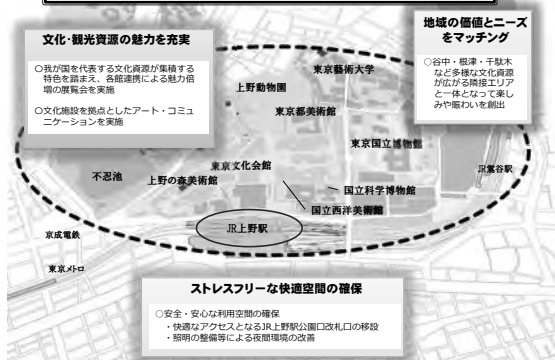
パート2

上野「文化の杜」新構想について

◆世界最高水準の芸術文化都市へ

上野は、日本屈指の文化施設を誇り、ロンドンやパリ等、世界を代表する芸術文化都市に比肩するポテンシャルを有している。2020年を目処に上野地区で国内外から3000万人の集客を目指す。(2013年:有料入場者数:1300万人)

上野「文化の杜」新構想の対象エリア



スポーツ文化ワールドフォーラム協賛イベント TOKYO数寄フェス(2016年10月21日～23日)



東京五輪へ「文化・観光の拠点形成を」 菅官房長官



引用元: 朝日新聞(2017年1月18日)
<http://www.asahi.com/articles/ASK16475K1LUTFK00X.html>

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの際には(訪日外国人)4千万人を目標としています。そういう中で、上野に象徴されますように、様々な資源があるけれども、素晴らしいを生かしてないんじゃないか。**文化、観光の拠点というものを形成していく必要がある**と思います。

昨年夏には、国立西洋美術館が世界文化遺産に登録されました。上野の周辺が国民の皆さんはもちろん、外国人の方々からも脚光を浴びていることは事実だと思います。**上野の「文化の杜(もり)」が、世界の観光客を引きつける魅力的な文化施設に成長していくことを心から期待しています。**

フライデーナイトミュージアム@上野 ～金曜日の夜は、ミュージアムへ～



週末の夜はミュージアムへミュージアムを訪れませんか。美術館の前でミニコンサートが繰り広げられ、博物館の中でヨガをし、著名人や有識者が文化への想いを語ります。プレミアムフライデーに「夜を楽しむライフスタイル」が東京・上野からはじまります。

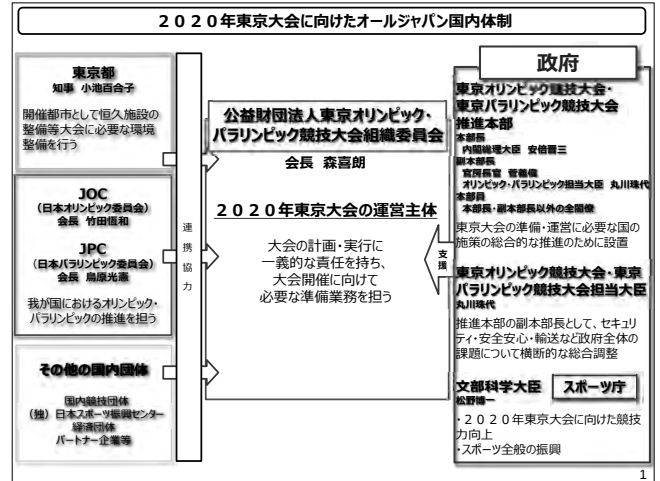
- 2月24日(金)東京国立博物館、国立西洋美術館、国立科学博物館
- 3月10日(金)国立科学博物館
- 3月17日(金)国立西洋美術館
- 3月31日(金)東京国立博物館



パネリスト：勝又 正秀 氏（スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック課長）

講演資料

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の概要	
第32回オリンピック競技大会 2020年（平成32年） 7月24日（金）～8月9日（日） 33競技 陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、バドミントン、自転車競技、卓球、馬術、フィギュアスケート、バドミントン、射撃、近代五種、カヌー、アーチェリー、テコンドー、トライアスロン、ゴルフ、ラグビー、野球、ソフトボール、卓球、スケートボード、スノーボード、カーフリン ※ 下線の競技は2020年東京大会の追加競技	第16回パラリンピック競技大会 2020年（平成32年） 8月25日（火）～9月6日（日） 22競技 アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボクシング、カヌー、自転車、馬術、5人制サッカー、ゴルフ、卓球、バレーボール、ボート、射撃、シッティングバレーボール、水泳、卓球、テコンドー、トライアスロン、車椅子バスケットボール、車いすフットサル、ウィルチェアラグビー、車いすテニス
第31回オリンピック競技大会（リオデジャネイロ） ・2016年（平成28年） 8月5日（金）～8月21日（日） ・205か国・地域、観客選手約 111,000人 ・28競技・306種目 参加選手数 約111,000人	第15回パラリンピック競技大会（リオデジャネイロ） ・2016年（平成28年） 9月7日（水）～9月18日（日） ・159か国・地域、観客選手約 4,300人 ・22競技・526種目 参加選手数 約4,300人
第18回オリンピック競技大会（東京） ・1964年（昭和39年） 10月10日（土）～10月24日（土） ・93か国・地域 ・20競技、163種目 参加選手数 約5,100人	第2回パラリンピック競技大会（東京） ・1964年（昭和39年） 11月9日（日）～11月12日（木） ・21か国・地域 ・9競技・144種目 参加選手数 約370人



2020年東京オリンピック競技大会の競技会場	
競技	会場
アーチェリー	◎夢の島公園
陸上競技	◎新国立競技場
水泳	◎オリンピックアクアティクスセンター
水球	東京辰巳国際水泳場
マラソン/10km	◎お台場海浜公園
バドミントン	◎武蔵野の森総合スポーツ施設
バスケットボール	さいたまスーパーアリーナ（埼玉県）
ボクシング	国技館
カヌー	◎海の森水上競技場
スラローム	◎葛西臨海公園競技場
トラック・レース	伊豆ベロドローム（静岡県）
ロード・レース	皇居外苑（スタート・ゴール）
自転車	伊豆マウンテンバイクコース（静岡県）
BMX	◎有明BMXコース
馬術・障害・総合	馬事公苑
クロスカントリー	◎海の森クロスカントリーコース
フェンシング	葛西メッセ（千葉県）
体操	◎有明体操競技場
ゴルフ	霞ヶ関カントリー倶楽部（埼玉県）
ハンドボール	国立代々木競技場
ホッケー	◎大井ホッケー競技場
柔道	日本武道館
新設	◎仮設 印旛、葛西、五輪、立候補段階からの変更有 水子、追加種目
※1	サッカーについては、組織委員会と国際サッカー連盟（FIFA）で予選会場の追加を検討中。
※2	野球・ソフトボールについては、組織委員会と世界野球・ソフトボール連盟（WBSC）で福島県内での開催を検討中。

2020年東京パラリンピック競技大会の競技会場	
競技	会場
陸上競技	◎新国立競技場
卓球	東京体育館
バドミントン、ウィルチェアラグビー	国立代々木競技場
柔道	日本武道館
車いすバスケットボール	◎有明アリーナ（決勝）、◎武蔵野の森総合スポーツ施設
ボクシング	◎有明体操競技場
車いすテニス	有明テニスの森
トライアスロン	◎お台場海浜公園
カヌー、ボート	◎海の森水上競技場
アーチェリー	◎夢の島公園
水泳	◎オリンピックアクアティクスセンター
馬術	馬事公苑
5人制サッカー	◎青海アーバンスポーツ会場
射撃	◎陸上自衛隊朝霞訓練場
パワーリフティング	東京国際フォーラム
自転車（トラック）	伊豆ベロドローム（静岡県）
ゴールボール、テコンドー、シッティングバレーボール、車いすフェンシング	葛西メッセ（千葉県）
◎：新設 ●：仮設 印旛なし 既存 下線：立候補段階からの変更有	
※自転車競技（ロード）の会場については引き続き調整	

東京2020参画プログラムについて

東京2020参画プログラムの枠組み

アクション&レガシープランのコンセプトに基づいたイベント・事業が実施できる仕組み。様々な組織・団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら大会に向けた参画・機運醸成を図るもの。

東京2020参画プログラム

東京2020
公認プログラム

東京2020
応援プログラム

各都府、開催都市、スポンサー、JOC・JPC、会場関連自治体、大会放送権者、が実施
公認事業としての位置づけ

非営利団体等が実施
アクションの裾野を広げ、多くの人々が参画できることを目指す

＜分野＞

スポーツ・健康

街づくり

持続可能性

文化

教育

経済・テクノロジー

復興

オールジャパン・世界への発信

TOKYO 2020

聖火リレーについて

東京2020大会組織委員会は、東京2020大会聖火リレーのコンセプトの検討を進めるため「聖火リレー検討委員会」を設置。2月24日に第1回会議を開催。今後、月1回程度委員会を開催し、検討を進める予定。オリンピック聖火リレーのコンセプトは8月、パラリンピック聖火リレーのコンセプトは来年2月にIOC、IPCへ提出する予定。

リオオリンピック聖火点火の様子

リオパラリンピック聖火リレーの様子

聖火リレーについて

1964年東京オリンピックにおける聖火リレーは全都道府県を回ることを前提に4つのコースが以下のように決定されていた。

第1コース 9月9日(水)～10月9日(金)
鹿児島→熊本→長崎→佐賀→福岡→山口→広島→島根→鳥取→兵庫→京都→福井→石川→富山→新潟→長野→山梨→神奈川→東京

第2コース 9月9日(水)～10月8日(木)
宮崎→大分→愛媛→高知→徳島→香川→岡山→兵庫→大阪→和歌山→奈良→京都→滋賀→三重→岐阜→愛知→静岡→神奈川→東京

第3コース 9月9日(水)～10月7日(水)
北海道→青森→秋田→山形→新潟→群馬→埼玉→東京

第4コース 9月9日(水)～10月7日(水)
北海道→青森→岩手→宮城→福島→栃木→茨城→千葉→東京

現在は、IOCにより、聖火を分けてはならず、ギリシャの採火から100日以内で行うことが規定されており、全国で聖火リレーを行うためには、IOCと交渉する必要。

6

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

(前年度予算額：253百万円)
(H28年度予算額：280百万円)

オリパラ教育の必要性

- 2020年まで約3年半となるなか、オリパラ・ムーブメントの推進が必要。特にパラリンピックへの関心向上が課題。
- オリパラ教育は、大会そのものの興味関心の向上だけでなく、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等、多面的な教育的価値を持つ。我が国の無形のレガシーとして、オリパラ教育の推進が重要。

平成27年度オリパラ・ムーブメント調査研究事業

宮城県 宮城県庁
京都府 京都府庁
福岡県 福岡県庁

各地域で実践的な調査研究を実施

調査研究の事例も踏まえ

平成28年度オリパラ・ムーブメント全国展開事業

2府10県で実施
宮城県 宮城県庁
京都府 京都府庁
福岡県 福岡県庁
宮城県 宮城県庁
京都府 京都府庁
福岡県 福岡県庁

全国(12箇所)で、オリパラ教育を実施
・各地域でのセミナー
・オリパラ教育推進校
・オリパラ競技体験
・市民フォーラムの開催

平成29年度展開予定

スポーツ庁 大会組織委員会

オリパラ教育全国中核拠点
「新しい、新しい、新しい」
教育プログラム
「ようい、ドン！」
公認マーク

オリパラ教育推進校
オリパラ教育推進校
オリパラ教育推進校

関係団体
関係団体
関係団体

実施・支援
実施・支援
実施・支援

Q取組(例)
(スポーツの価値)
・オリンピック、パラリンピックを講師に招き、努力することの大切さ、あきらめない心、フェアプレーの大切さを学ぶ。
(国際理解)
・ホストタウンの相手国や過去のオリンピック・パラリンピックに参加した国の文化を学び、日本の文化との違いを知ることで、国際理解を深める。
(共生社会)
・パラリンピック競技の体験を障害者・障害者合同で行い、他者への共感や思いやりを育てる。

7

オリンピック・パラリンピック教育の取組事例について

取組事例

(推進校の取組 1)

○学校名 京都府立綾部(あやべ)高等学校

○目標・ねらい
・部内選手プールを使用し、障害を持った人達と水泳を通して直接触れ合うことにより、他者への共感、思いやりを育てる。

○実施内容
・パラリンピックメダリストである河合純一氏から「ゆめへの努力はあきらめない」と題し、人生及び競技に対する心構え等を講演。
・河合氏と猪飼聡氏による障害者・健常者合同水泳交流会を実施。

○実施の成果(生徒の感想(抜粋))
・障害があってもなくても、スポーツに対する愛や熱意は変わらない、高い目標を持って頑張っていることを知りました。
・障害とはその人が持っているものじゃなくて、社会が作り出していることがわかりました。だから、私たちの考え方が変われば障害のある方も幸せに生きられるとわかりました。

(推進校の取組 2)

○学校名 仙台市立台原(たいのはら)中学校

○目的・ねらい
・体育祭にオリパラ教育を盛り込み生徒の意識向上を図る。
・特別授業やPTA講演会等において、オリンピックやスポーツに関する講話を聴き、オリパラの意義を考える。

○実施内容
・生徒自らが実行委員会を組織し体育祭の一部運営、生徒が美術の時間で万国旗を作成し、体育祭時に掲示。

(市民セミナー)
「教育レガシー共創フォーラム in 宮城」
テーマ「オリパラ・パラリンピックが震災復興に果たす役割を考える」
【日 時】平成28年1月31日(日) 13:30～16:00
【参加者】100名
【内 容】
・オリパラ教育実践事例紹介
・オリンピック、パラリンピック等による「パネディスカッション」等
→フォーラムでは、「復興と輪の開催コンセプト」をいかに実現するか、アスリートやメディア等の立場の方々様々な提案がなされた。

8

オリンピック・パラリンピック教育の取組事例について

取組事例

(推進校の取組 3)

○学校名 福岡県立三洲(みずま)高等学校

○目標・ねらい
・2020年の東京オリンピックを目指している卒業生の講話や意見交換を通して、カヌー競技(マイナー競技)への理解を高めるとともにオリンピック・パラリンピックへの関心を高める。

○実施内容
・講師本人が出場した世界選手権のレースの様子を見て、大会の様子やルール等を説明。
・カヌー競技を始めたきっかけから現在に至るまでの経緯の講話。
・オリンピックを目指す意義等の講話。
→オリンピック・パラリンピックの7つの価値(尊敬・卓越・友情・決断・勇気・平等・鼓舞)
→自分自身への挑戦、自己成長、ベストを尽くすこと
・カヌーマシンを使って体験及び指導等

○実施の成果(アンケート結果)
・カヌー競技というマイナー競技における話だったが、本校の卒業生といふことで身近に感じ自分(他競技)に置き換えて考える事ができた。

9

ホストタウンについて

2020年の大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げる。

- 以下の取組を行う地方公共団体は、ホストタウンとして登録できる。
 - 住民等と次に掲げる者との交流
 - 大会等に参加するために来日する選手等
 - 大会参加国・地域の関係者
 - 日本人オリンピック・パラリンピアン
 - ①に伴い行われる取組みであって、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図ろうとするもの
- 内閣府オリパラ事務局に、団体からの相談・申請等を受け付ける窓口を設置する。
- 関係府省庁は、各種財政措置(特別交付税などの地方財政措置を含む)、人材の派遣、情報提供などを通じ、ホストタウンの取組みを支援する。

大会前後を通じた継続的な取り組みについて
上記取組を核として、更に地域のグローバル化、活性化、観光振興等へとつなげていく

10

ホストタウンの登録状況

■登録件数 138件 (平成28年12月9日現在)
※ 複数の地方公共団体による共同申請があるため、団体数としては186、相手国・地域数は63。

■登録申請と審査の結果

	公表日	区分	審査対象(件)	登録(件)
第1次登録	H28.1.26	新規申請	69	44
		新規申請	58	41
第2次登録	H28.6.14	継続審査	25 (うち11件について進捗状況の報告有り)	6
		新規申請	65	36
第3次登録	H28.12.9	継続審査	36 (うち20件について進捗状況の報告有り)	11

※登録件数は、複数の国との交流計画を出している場合や、複数の自治体が連携して登録している場合も1件とカウント。

11

ホストタウンの活動状況

【北海道網走市（オーストラリア）】

- ラグビーの事前合宿誘致を目指す。
- 市内で合宿中の実業団ラグビーチームに在籍するオーストラリア出身のピーター・ヒュウツトコーチを招き、タグラグビー体験や、オーストラリアの文化・スポーツを学ぶなど、児童51人と交流事業を実施。

【青森県今別町（モンゴル）】

- フencingのジュニア選手5名が地元中学生・高校生と合同で強化練習や交流試合を実施。
- 地域を挙げて、モンゴルフencingチームを歓迎。
- 日本の伝統行事の見学や荒馬の披露など、選手たちに日本や地域文化を体験。

【群馬県前橋市（ハンガリー）】

- 柔道の事前合宿誘致を目指す。
- プタバスト柔道連盟のジュニアチームを招待し、買い物体験や、地元のたんばえ餅の体験など、交流事業を実施。

スポーツ庁による地域活性化とは？

**スポーツには人を動かす「チカラ」がある。
その「チカラ」を活かして地方を元気に！**

概念・意識を転換

「体育」から「スポーツ」へ！

スポーツのみでなく、「スポーツ＋α」、「スポーツ×α」へ！

スポーツは「お金がかかるもの」から「お金を生むもの」へ！

スポーツによる地域活性化

スポーツを、景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することで、地域・経済の活性化を図る。

地域活性化におけるスポーツのチカラ

スポーツは、経済効果だけでなく、地域へ様々な社会的効果も創出。

大会・イベントの開催

スポーツツーリズム資源の開発

大会の誘致

観戦集客

合宿・キャンプの誘致

【地域への経済効果】

- ・選手団や参加者・観戦者の滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- ・大会・イベント等の参加料収入
- ・付帯イベント実施の場合の事業・物販収入

【地域への社会的効果】

- ・ブランディング・シティプロモーション効果
- ・地域スポーツ人口・関心層の拡大
- ・受入地と派遣国・地域との交流のきっかけ
- ・ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- ・認知度・誘客ターゲットの拡大
- ・観光入込の平準化、従事者の雇用安定

その地域ならではの特色を活かす

地域ならではの特色を掛け合わせることで、スポーツのチカラが最大化。

三重県熊野市

新たな観光資源として、穏やかな波と美しい景観を持つ「新熊野」を活用し、シーカヤックやスタンドアップパドルサーフィンなどのマリンスポーツ観光を開発。

静岡県三島市

2015バレーボールW杯時に米国男子チームの合宿を誘致。エキシビションマッチや、日本文化体験機会も創出。この取組を契機に、米国バレーボールチームを相手にホストタウン登録が決定。

富山県南砺市（利根村）

森林、廃スキー場、廃道、古道など、地域ならではの資源を活用した「TOGA天空トレイル」を開通。住民との交流会や、名物のふるまいなど、スポーツ＋村ならではの「おもてなし」で観光誘客を図る。

スポーツツーリズムが地域・産業を活性化

【ツーリズム産業】

- ・旅行、宿泊、運輸業はもちろんのこと、観光施設、飲食、小売などの関連産業にも波及効果がある「裾野の広い産業」
- ・地域へ交流人口の拡大をもたらす、地域経済の活性化にも寄与する産業。

【スポーツツーリズム】

- ◆ 出発前のスポーツ用品やファッション等の購入、旅先でのイベント参加・観戦など、通常のツーリズム以上の関連消費が期待できる。
- ◆ 「スポーツ」という新たな観光の切り口で、地域の誘客ターゲットも拡大。

スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れたり、地域資源とスポーツを融合した観光を楽しむツーリズムスタイル。

幅広いスポーツツーリズム関連産業の活性化、交流人口拡大による地域活性化の両方に、大きく寄与。

様々な産業の活動が活発化することで、

【国民】 広く一般にスポーツツーリズムが新しいレジャースタイルとして認知・定着

【産業界】 スポーツツーリズムの活性化で様々な産業にビジネスチャンスが創出

【地域】 スポーツツーリズム開発意欲の拡大・より良質な観光コンテンツの創出

広く一般のスポーツツーリズム需要が高まることで、

スポーツ庁の取組：スポーツ文化ツーリズムアワード2016

・平成28年3月に締結した「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定」のキックオフ施策。

・スポーツと文化芸術を融合させて観光地の魅力を向上させる取組を全国から公募。

・3/16開催の「平成28年度スポーツ文化ツーリズム国際シンポジウム」にて大賞及び各庁長官賞を発表予定。

三庁連携シンボルマーク

日本の伝統文化とスポーツの融合「和太鼓アタビデティ」

スポーツ国際大会

東京五輪とマリン＆フィッシング

3/2水戸ホーリーホップ・パトリックからの観戦・応援ツアー、パトリックが活躍する日本の観光地・文化の発信

宮城県仙台市で「仙台市文化芸術フェスティバル」を開催し、スポーツと文化芸術の融合を推進

世界遺産姫路城マラソン

あひの国おおひろ2016～World Area Dance Open～

サイクリストの聖地「長野県・ふもとみどり」を観光とサイクリングで楽しむ

長野県・大町市で「大町市文化芸術フェスティバル」を開催し、スポーツと文化芸術の融合を推進

沖縄県人スリッパ！～はなまる（ひーや）が活躍する～



鈴木長官は東京藝術大学で開催された「コンサート・シンポジウム それぞれの美 Sports Arts Science」に参加

スポーツの可能性は無限大



スタンフォード大学発のITベンチャー「STRIVR Labs.」は、トレーニングやファン体験（ゲーム）に活用できるVR機器の開発を行っている。上は鈴木長官自らが体験する様子。

Levi's STADIUM
(リーバイス・スタジアム)

パネリスト：蔵持 京治 氏（観光庁 観光地域振興部観光資源課長）

講演資料

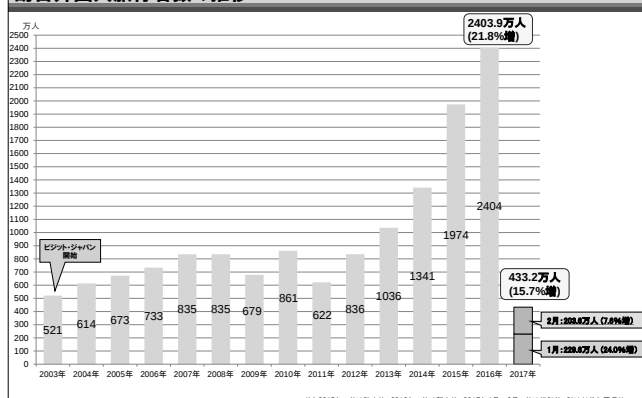
観光先進国の実現に向けた課題と 2020年に向けた取り組み

平成29年3月29日
観光庁観光資源課長
蔵持 京治



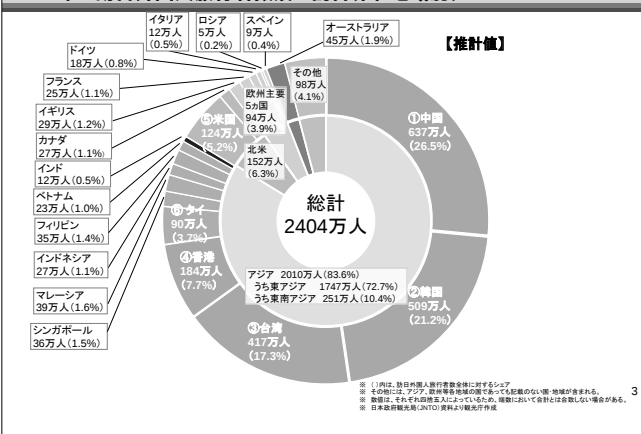
観光庁 Japan Tourism Agency Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

訪日外国人旅行者数の推移



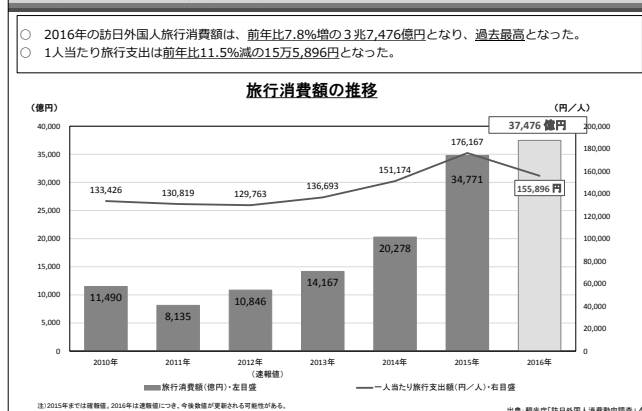
2

2016年の訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)



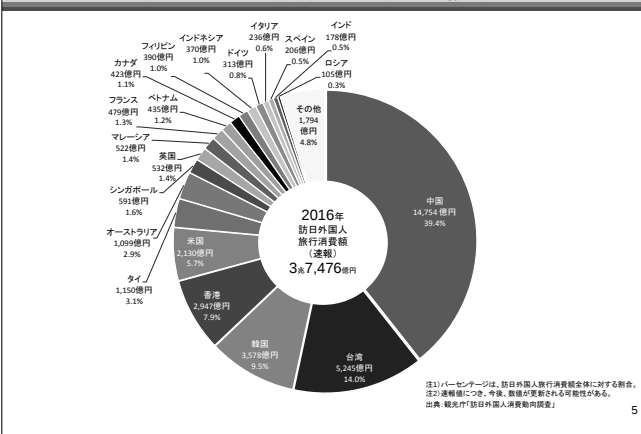
3

訪日外国人旅行消費額の推移



4

2016年の訪日外国人旅行消費額及び割合(国・地域別)



5

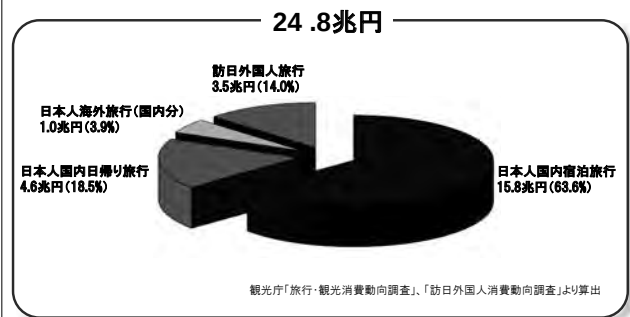
各国通貨ベースでみた訪日外国人1人当たり旅行支出～為替の影響

2016年暦年				
	日本円ベース	各国通貨ベース	為替レート (円/各国通貨)	
	前年比	前年比	前年比	前年比
中国	231,504(円) -18.4%	14,276(人民元) -1.6%	16.22(円/人民元)	-17.1%
台湾	125,854(円) -11.1%	37,585(台湾ドル) 1.6%	3.35(円/台湾ドル)	-12.5%
韓国	70,281(円) -6.5%	755,706(ウォン) 8.3%	0.09(円/ウォン)	-13.6%
香港	160,230(円) -7.0%	11,517(香港ドル) 4.4%	13.91(円/香港ドル)	-10.9%
米国	171,418(円) -2.4%	1,587(USドル) 9.4%	108.03(円/USドル)	-10.8%
(参考) 全国籍・地域	155,896(円) -11.5%	1,443(USドル) -0.8%	108.03(円/USドル)	-10.8%

注) 為替レートは、原則としてJMT(国際通貨基金)公表の日本円対各国通貨の平均相場を使用。
ニュー・ゼalandドルおよび豪ドルはFIM(海外通貨管理委員会)公表の日本円対各国通貨の平均相場を使用。
韓国通貨ベースのレートは、その為替レートにて換算。なお、全国籍・地域は、USドルにて算出されている。

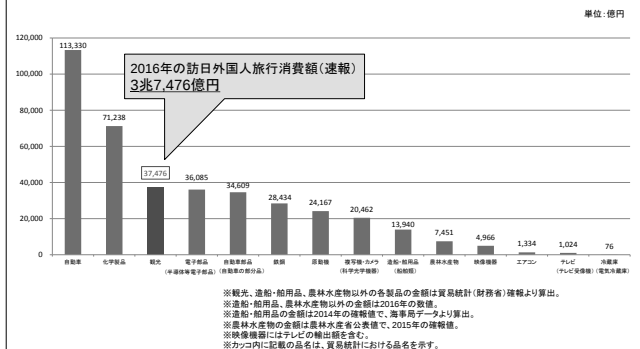
6

国内における旅行消費額（2015年）



7

訪日外国人旅行消費額の製品別輸出額との比較(2016年)



8

「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」について

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議

訪日外国人旅行者数2000万人の目標達成が視野に入ってきたことを踏まえ、次の時代の新たな目標の設定とそのために必要な対応の検討を実施。

【議長】 内閣総理大臣
 【副議長】 内閣官房長官、国土交通大臣
 【構成員】 副総理兼財務大臣、地方創生担当大臣、一億総活躍担当大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣

(民間有識者)
 石井 至 石井兄弟社(旅行ガイド出版社)社長
 井上 慎一 Peach Aviation(株)代表取締役CEO
 大西 雅之 競雅グループ代表
 小田 真弓 旅館 加賀屋 女将
 唐池 恒二 九州旅客鉄道(株)会長
 デービッド・アトキンソン 小西美術工芸社社長
 李 容淑 大阪国際大学客員教授

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議
 ワーキンググループ

【座長】 内閣官房長官
 【座長代理】 国土交通大臣
 【構成員】 内閣官房副長官、内閣総理大臣補佐官、内閣官房副長官補、関係省庁局長 等

昨年3月30日 「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定

9

我が国にとっての観光の意義

成長戦略の柱

急速な成長を遂げるアジアをはじめとする世界の国際観光需要を取り込むことによって、日本の強い経済を取り戻す。

地方創生の鍵

人口減少・少子高齢化が進展する中、国内外からの交流人口の拡大や旅行消費によって地域の活力を維持し、社会を発展させる。

国際社会での日本の地位向上

諸外国との双方向の交流を通して、国際相互理解を深め、我が国に対する信頼と共感を強化する。国際社会での日本の地位を確固たるものとするために、極めて重要。

自らの文化・地域への誇り

観光で国を開き、外国の人々に日本文化や日本人の本質に触れて貰うことを通じて、日本人自らが、その価値を再認識し、自らの文化や地域を誇りに思う。

10

我が国が持つ「観光先進国」への可能性

気候 自然 食 文化

我が国は、観光振興に必要な4要素、すなわち、「気候」「自然」「食」「文化」が全て揃っている、フランスと並んで世界でも稀な存在である。

「新・観光立国論」デービッド・アトキンソン(小西美術工芸社代表取締役社長)

【「気候」】 スキー・ビーチリゾートを楽しめる風土

【「自然」】 手つかずの自然、山岳、豊富な動植物

【「食」】 世界文化遺産の「和食」、質の高い洋食

【「文化」】 和の伝統文化、現代文化

11

新たな目標値について

安倍内閣3年間の成果

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワーク拡大など、大胆な「改革」を断行。

訪日外国人旅行者数は、2倍増の約2000万人に
 訪日外国人旅行消費額は、3倍増の約3.5兆円に

新たな目標への挑戦!

	2020年	2030年
訪日外国人旅行者数	4,000万人 (2015年の約2倍)	6,000万人 (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	8兆円 (2015年の約2倍)	15兆円 (2015年の約4倍)
地方部での外国人延べ宿泊者数	7,000万人泊 (2015年の約3倍)	1億3,000万人泊 (2015年の約5倍)
外国人リピーター数	2,400万人 (2015年の約2倍)	3,600万人 (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	21兆円 (最近5年間の平均から約5%増)	22兆円 (最近5年間の平均から約10%増)

12

今後必要となる取組の方向性



13

「明日の日本を支える観光ビジョン」～世界が訪れたい日本へ～ 概要

これまでの議論を踏まえた課題

平成28年3月30日策定

- 我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。
- 観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。
- CIQや宿泊施設、通信・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。
- 高齢者や障がい者なども含めた、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

「観光先進国」への「3つの視点」と「10の改革」

- | 視点1
「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」 | 視点2
「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に」 | 視点3
「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■「魅力ある公的施設」を、ひろく国民、そして世界に開放 ・「高知や中津の地蔵堂」などを大規模に公開・開放 ■「文化財」を、「保存優先」から観光客目線で「理解促進」し、そして「活用」へ ・2020年までに、文化財を核とする観光拠点を全国で200箇所、わたりわたり多言語解説など1000箇所を創出し、集約的な活性化 ■「国立公園」を、世界水準の「アショナルパーク」へ ・2020年を目標に、全国5箇所の公園について民間の力を借り、休養・活用型の空間へと変革 ■おきなわ観光地「景観計画」をつくり、美しい風景を ・2020年を目標に、原則として全都道府県、全国の半数の市区町村で「景観計画」を策定 | <ul style="list-style-type: none"> ■古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業へ ・60歳以上経過した規制、制度の抜本見直し、代替手段の導入・活用、民間の参入・参画、官公庁の生産性向上など、総合的「カブ」で産業・変革 ■あたらしい市場を開拓し、長期滞在と消費拡大を同時に実現 ・欧州・米国・東南アジア等観光客をターゲットにした「アショナルパーク」を、観光客のニーズに合わせたサービス・施設・設備の整備・拡充、観光客のニーズに合わせたサービス・施設・設備の整備・拡充 ■競争力ある観光地や地方都市を、未来志向の観光で再生・活性化 ・2020年までに、世界水準DMOを全国100形成 ・観光地再生、活性化「カブ」、規制緩和などを促進し、民間の力を最大限活用 ・安定的、継続的な「観光まちづくり」を実現 | <ul style="list-style-type: none"> ■ソフトインフラを徹底的に改善し、世界一快適な滞在を実現 ・世界最高水準の技術活用により、出入国審査の効率化 ・3桁3分以内の通過、交通利用環境の実現 ・1桁1分以内の通過を実現 ■「地方創生回廊」を完成し、全国どこへでも快適な旅行を実現 ・「JTB」・「JTB」を、訪日後でも購入可能な、新幹線駅や空港・交通機関等と連動した、観光客へのサービス・施設・設備の整備・拡充 ■「働きかた」と「休みかた」を改革し、運動あふれる社会を実現 ・2020年までに、年末年始休暇取得率70%以上向上 ・家族が休暇をとりやすい制度の導入、休暇取得の分散化による観光需要の平準化 |

14

新たな観光ビジョンと2020に向けた施策

- 視点1
観光資源の魅力を極め、地方創世の礎に
- 視点2
観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に
- 視点3
すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

●東京2020
オリンピック・パラ
リンピックに向け
た施策

「観光先進国」

2020以降の観光

15

スポーツ庁、文化庁、観光庁との三庁包括連携協定について

- 文化庁・観光庁…平成25年11月に包括的連携協定を締結
- 平成26年10月にスポーツ庁が発足。平成28年3月7日に、スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定を締結。

【署名式の開催】

- 日時 平成28年3月7日（月）
- 場所 旧岩崎邸（国指定重要文化財 旧岩崎家住宅）
- 出席者 鈴木大地 スポーツ庁長官
青柳正規 文化庁長官
田村明比古 観光庁長官



【スポーツ文化ツーリズムアワード2016】

- 「スポーツ」と「文化」を組み合わせ、地域の優秀な取組について、有識者等の意見を踏まえて、大賞、各庁長官賞を授与。
- 昨年9月に10選を選定、3月に受賞者を決定。



授賞式の様子（3月16日）

【ジャパン・トラベル・マラソン】

- 3庁連携に連動した民間側の取組として、日本政府観光局、日本観光振興協会、日本旅行業協会が中心となって始動。
- ツーリズムexpoジャパン等の3つの国際観光イベントと「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」を開催、地域のスポーツイベントや祭事などの情報を旅行業界が中心となって強力に発信。



【三庁連携シンボルマーク】

- 三庁を示す3つの輪が水引で結ばれ、結露に富士山が出現し、登雲がかかった様に見える。
- 「富士に雲」で国内観光発展の吉祥と三庁の結束力をイメージ。
- 作成者 永田 康二氏（グラフィックデザイナー）



【大賞】

瀬戸内しまなみ海道を核としたサイクルツーリズム

瀬戸内しまなみ海道振興協議会



概要・実績

- しまなみ海道沿線に点在する文化資源（芸予諸島、尾道水道、四国遍路等）を自転車と巡るサイクルツーリズムの推進。国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の開催、海外メディア媒体等を活用した国内外へのプロモーション、自転車道通行料金の無料化、広域レンタサイクル制度など。
- しまなみ海道サイクリング来訪者数325,853人。（平成27年度推計値）

評価ポイント

- 橋からの風景も良いが、各島に寄った時、そこで行われているイベント等、楽しめるプログラムがあること。また観光イベントとしてこれだけの規模の取組が継続していることが重要。（田川委員）
- 広域の連携が進み、多くの関係者がよく協力している。「観光は世界最大の産業」というのはこういうところ。（山出委員）



【スポーツ庁長官賞】

世界遺産 姫路城マラソン

兵庫県姫路市



概要・実績

- 姫路城大天守保存修理事業の完成を記念して始まった。世界遺産姫路城を発着地とし、書写山や塩田温泉郷などの名所、旧跡を巡るコースとなっている。
- ランナー約1万人、来場者数53,000人、沿道応援者数72,000人、経済効果は約11億2千万円。

評価ポイント

- 一番の特徴は、「ジュニアの育成」。「運動不足、運動離れ」が言われている中で、こうした取組を押し出しているのが良い。小学生対象の部でも各学年に賞を設定しているのも面白い。（杉山委員）
- スポーツツーリズムで重要な地元の支援があり、一過性のイベントでない。地域一帯あげての取組というところが感じられ、正に地域活性化であると思う。（田川委員）



【文化庁長官賞】
スポーツ流鏑馬大会

青森県十和田市



概要・実績

- 「乗馬」と「弓道」の両方の技術を要する日本古来の神事である「流鏑馬」をスポーツ競技化。春季から秋季にかけて、十和田市をはじめ、東北地方の複数個所で大会開催。また、初心者から気軽に楽しむことが出来るよう、「流鏑馬体験プログラム」を実施。
- インバウンド受け入れのため、県内大学の留学生を対象としたモニターツアーを実施

評価ポイント

- 競技性が高く、迫力がある。桜、紅葉、海など場所の景観とも絡められる。各地へ転戦することで広域性の観点でも大きな価値につながる。(沢登委員)
- ソーシャルメディアでも拡散しやすい素材。(原田(静)委員)
- 伝統行事をスポーツとして解釈していくという観点が良い。乗り手がいなくてできない事が結構多いが、子どもたちの憧れになりうる競技。(山出委員)

